

<>や★は、活動や体験を通して、育つことが期待される資質・能力や姿

○は、幼児教育と小学校教育の学びのつながり

☆八幡東幼稚園：「大きなプールであそぼう！」

☆高見の森保育園：「一緒にあそぼう！」（異年齢交流）

☆高見小学校で：「おおきなかぶ（国語科）」「ソフトボール投げ（体育科）」

高見小学校区

7月の教育実践より

八幡東幼稚園

まあるくなあれ！足を伸ばしてみようか

ちっちゃくなあれ！おもしろいね！もう一回しようよ！



顔に水がかかるのが嫌だった子どもが「おもしろーい！」「うわー！できたできた！」と、友達と一緒になら勇気が出て、チャレンジしてみようとしています。思い切って足を伸ばしたり、集まる動作をすることで浮く感覚を体感しています。

<学びに向かう力・人間性等> ★健康な心と体

異年齢での競争的なゲームでは、競う楽しさを味わいながら、「はい、投げて。」と玉を渡したり「すぐに投げられるいいよ。」と教えたりする年長児の姿がみられます。

<思考・判断・表現等の基礎> ★道徳性・規範意識の芽生え

高見の森保育園

うしろにもぶつからないように！小さい組さんが落ちないように！



年下の子どもがタオルをしっかり握っているかを確認したり、落ちないようにスピードに気を付けたりしながら引っ張っています。縦割り保育を通して、相手を思いやる気持ちが育っていきます。

<思考・判断・表現等の基礎> ★道徳性・規範意識の芽生え

頑張れ！玉をにぎったら、さっと投げるよ！

「おおきなかぶ」の絵本があったよ。教科書にもあるんだね

高見小学校

体育科
「ボール投げゲーム」

落ち着いて教科書のお話を読み、おもしろかったところや楽しかったところを発表するとき、自分なり言葉で表現しています。

<知識と技能の基礎> ★言葉によるえ合い

○国語科 おおきなかぶ
想像を広げながら物語を楽しんで読もうとする



国語科
「おおきなかぶ」



7月になると学校生活にも慣れてきて、自分で行動できるようになります。友達の投げ方をまねしながらソフトボール投げをしています。

<知識と技能の基礎> ★自立心

○体育科 ボール投げゲーム（的あてゲーム）
ねらったところに緩やかにボールを投げることができる。

